



特定非営利活動法人あしぶえ

第 19 期

事業報告書

2023年(令和5)4月1日～2024年(令和6)3月31日



一般社団法人非営利組織評価センター「第三者組織
評価」の「ベーシック評価」を受けました。

認定特定非営利活動法人あしぶえ

総会

項 目	第18回通常社員総会
日時・場所	2023（令和5）年5月14日（日）10：00～11：03 場所：しいの実シアター
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2022（令和4）年度 事業報告、決算報告、会費報告の件 ・2023（令和5）年度 事業計画、収支予算報告、役員改選報告の件

項 目	令和5年度臨時社員総会
日時・場所	2023（令和5）年7月17日（月・祝）10：00～10：33 場所：しいの実シアター
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・監事選任の件 <p>監事選任は、5月14日開催の第18回通常社員総会で提案承認されるべきものを、誤って理事会で選任し総会で報告したことに気づいた。そのため、全社員にお詫びと訂正文を送付して、改めて臨時総会を開催して監事を選定した。</p>

理事会

項 目	第1回理事会（通算119回）
日時・場所	2023（令和5）年5月12日（金）10：03～12：31 場所：しいの実シアター
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2022（令和4）年度 事業報告、決算報告、会費報告 ・2023（令和5）年度 事業計画、収支予算報告、役員改選

項 目	第2回理事会（通算120回）
日時・場所	・2023（令和5）年7月17日（月・祝）10：40～11：15 場所：しいの実シアター
審議事項	・退職金規定について

項 目	第3回理事会（通算121回）
日時・場所	・2024（令和6）年1月29日（月）15：00～16：53 場所：しいの実シアター
審議事項	・2024（令和5）年度 決算見込み、指定管理更新

交流の集い

第18回通常社員総会終了後に、交流を兼ねて「これからの劇場」について話し合った。

他団体の事務局運営

八雲町地域振興活動団体交流会（やくもネット）事務局とポータルサイトの運営
島根演劇ネット事務局と、同事務局の島根県次世代育成事業の実施ととりまとめ

<令和5年度事業報告>

法人事業 表現・コミュニケーション能力育成事業

年々子どもたちの状況は幼くなっている。クラスでも数人とししか関係性を持たないので、先生たちはクラス全体のコミュニケーションの場をととても大切に感じておられるようだ。企業でも、異年代によりコミュニケーションが難しいと、異業種研修をされて好評だった。

小・中・大学		実施月日	対 象	受講者数
松江市	松江市立八雲小学校 (次世代育成事業)	R5/6~R6/2	1年、2年、3年	614名
	島根県立大学4年制学部 教育保育学科 1年生	R5/4/20	新入生	34名
	島根県立大学短期大学部 保育学科 1年生	R5/4/19	新入生	41名
	松江市立義務教育学校八束学園 (次世代育成事業)	R5/6/5、11/14	3年、4、5、6年	142名
県内	飯南町立頓原中学校	R5/6/16、9/28	1、2、3年	62名
	益田市立益田東中学校	R5/9/27、10/26	2年	145名

企業、地域、PTA、その他		実施月日	対 象	受講者数
松江市	松江ニューアーバンホテル職員ワーク	R5/4/3.4	ホテル内異業種研修	45名
	松江ニューアーバンホテル職員ワーク	R6/2~3	ホテル内異業種研修	111名
	まつえ市民大学 全6コース	R5/5/16.17.19 5/23.31.6/3	市民 高齢者中心	215名
	どんぐり館ファミリーサークル	R5/5/13	小学生 土曜事業	16名
	どんぐり館 星キラMama	R5/10/4	在宅母子と高齢者	16名
	松江市幼・保・幼保育園等職員研修	R5/7/6	市内公立職員研修	33名
	松江市幼稚園教育研究会 (ゆたかなことばを育てる部会)	R5/8/2	市内公立幼、部会研修	15名
	島根県労連	R5/8/19	県庁職員労働組合	13名
	八雲・東出雲 地域リーダー合同研修会	R6/1/21	東出雲と八雲中学生	40名
県内	保育士スキルアップ研修(東部)	R5/8/22	東部保育士(公.私)	29名
	保育士スキルアップ研修(西部)	R5/9/6	西部保育士(公.私)	6名
合 計 (数字はすべて延べ人数)				1577名
平成12(2000)年から通算すると 延べ				48780人

<令和5年度事業報告> **法人事業 誘客事業**

事業名	森の劇場でお花見を！
人数	657人
趣旨	桜を通して周辺環境の魅力を市民に周知し、演劇に興味・関心が薄い人にも足を運んでもらい、しいの実シアターの認知度アップを目指す。
概要	令和5年 4月1日（土） 10：00～15：00 2日（日） 10：00～15：00 しいの実シアター
成果	マルシェを出店し、普段芸術文化に触れることの少ない市民にとって劇場への親近感、興味関心が増し、好感度が上がった。

事業名	落ち葉集めとやきいも
人数	23人
趣旨	未来学校参加者を中心に家族連れの参加を募り、落ち葉集めと焼き芋を楽しみ、シアターへの愛着を育てる。
概要	令和5年11月23日（日） 13：30～16：00
成果	家族連れで、参加者皆が、懸命に働いた。

事業名	焚き火と音楽の夕べ
人数	雨天のため中止
趣旨	紅葉の中で焚き火と音楽を楽しむ会を開催して劇場に親しみをもってもらおう。
概要	令和5年11月11日（土）

事業名	森の劇場でお花見を！
人数	860人
趣旨	桜を通して周辺環境の魅力を市民に周知し、演劇に興味・関心が薄い人にも足を運んでもらい、しいの実シアターの認知度アップを目指す。
概要	令和6年 3月30日（土） 10：00～15：00 31日（日） 10：00～15：00 しいの実シアター
成果	劇場見学を促すため、「セロ弾きのゴーシュ」の手作りチェロを展示し、劇場隣の劇団員宅の庭も開放。天候良好により誘客度がアップした。以後の1週間も桜見物は続き、140人ほどの来場者があった。

<令和5年度事業報告> **法人事業 物販事業**

しいの実シアター及びかやぶき交流館で、地元産品等を販売した。

<令和5年度事業報告> しいの実シアターの管理・運営事業

公演事業1

事業名	上演32年200回記念公演 「ゼロ弾きのゴーシュ」(60分)
助成金	アートキャラバン(全国公立文化施設協会)助成 2,666,550円 島根県次世代育成事業委託金 334,420円
入場実績	一般 428人 児童・生徒 116人 合計 544人 ゲネプロ 89人
趣旨目的	200回記念として、照明家・岩城保氏による新プランで更なる誘客を目指す。
事業概要	【出演】劇団あしぶえ 【演出】園山土筆 【回数】8ステージ 【日程】令和5年5月28日(日)、6月18日(日)7月2日(日) 7月3日(月)八雲中団体観劇。市文化・スポーツ部16名研修実施。 【料金】一般:2,500円 18歳未満1,000円 グループ割引:1人2,000円
事業実績	<p>「ゼロ弾きのゴーシュ」の劇化は非常に難しいが、照明の岩城保氏も演出意図を充分にくみ取ったことから作品価値が高まった。回収率92%のアンケートからは、「公演の度に観たい」「何度も観たが毎回進化している」「一度観たいと思っていた」等の感想が多かった。</p> <p>【ゲネプロ公開】 勤務等で日曜日に観劇できない観客や、複数の子どもを連れた家族では入場料金が高額になるため、本番前夜のゲネプロを低額公開し、誘客に繋がった。</p> <p>【遠路からの観客】 東京、大阪、奈良、神戸、鳥取、広島、福岡からの観客のほか、演出家も来場。東京芸術劇場から研修生ら5名が来場。質疑は4時間にもわたった。</p> <p>【専門家による劇評掲載】 初日に観劇した大澤寅雄氏(日本文化政策学会理事)による劇評が公演期間中に山陰中央新報に掲載されて、観客増につながった。</p>



学校公演は市内の小学生が観劇。多数の感想文が届いた。

公演事業2

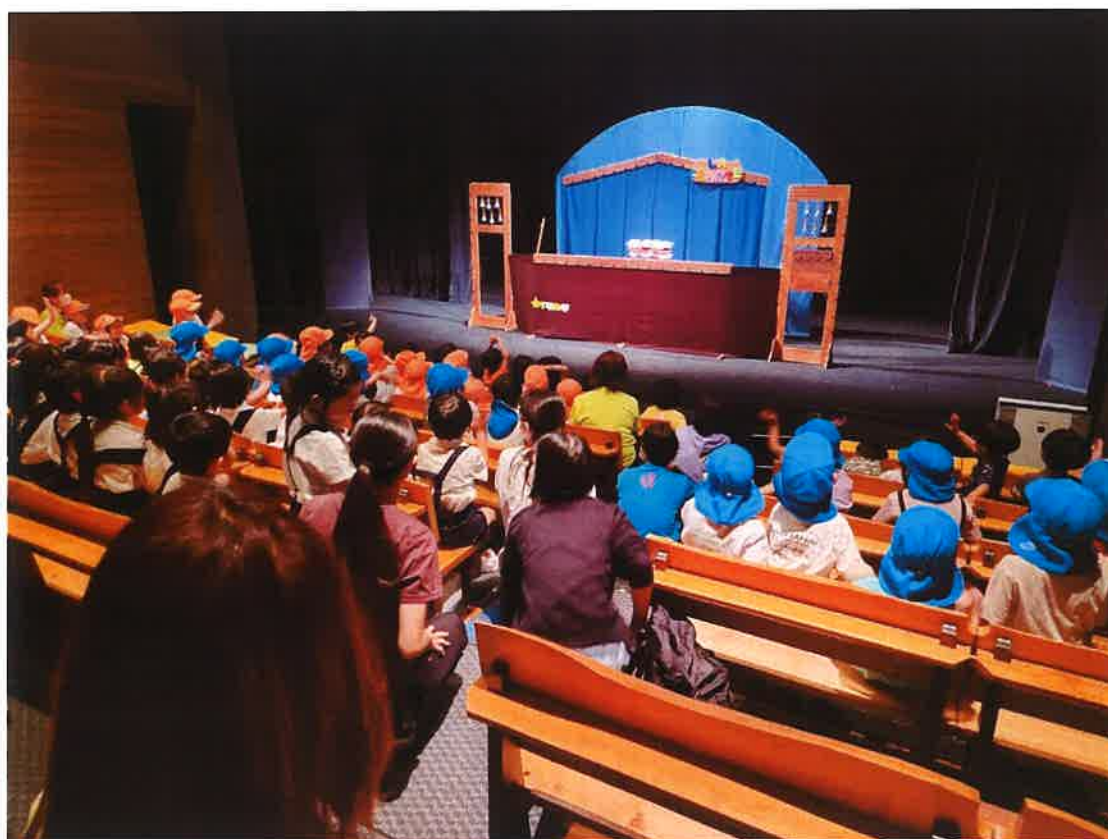
事業名	イギリスの人形劇「ヤナと雪男」公演 (50分)
助成金	アートキャラバン（全国公立文化施設協会枠）助成 7,109,850円
入場実績	一般公演 260人、学校団体観劇 319人、引率・招待 44人 合計623人
趣旨目的	イギリスの人形劇団を初招聘。演出家・宮田慶子氏がしいの実シアターにふさわしいハイレベルの人形劇であると推薦。上演交渉の結果、初の日本公演が実現した。
事業概要	<p>【上演】ピクルド・イメージ（イギリス）</p> <p>【日程】令和5年10月11日（水）12日（木）13日（金）15日（日）</p> <p>【回数】1日2ステージ×4日＝8ステージ</p> <p>11日、12日、13日は、松江市教育委員会と連携して、市内小学生の団体観劇を6ステージ 15日は、一般公演2ステージ</p> <p>【対象】5歳以上【言語】ジバリッシュ【料金】一般3,000円 18歳未満1,000円</p>
事業実績	<p>移民の幼い少女が言葉も文化も異なる異国の家族の一員になるという不安とみじめさを見事に表出。誰も理解できない造語セリフであるため、意思疎通できない哀しさ、切なさ、寂しさを観客にも体験させながら、多様な音楽と踊りと動きで心情表現を行い、観客を劇の中に同化させていった。「人形劇は子どもが観るもの」という一般的な見方を見事に変えて、間違いなく全年齢の人たちの心をとらえた作品だった。</p> <p>【保育園・小学校・ろう学校の団体観劇】</p> <p>松江市教育委員会と連携により、観劇希望校の子どもたちが貸切バスで来場し観劇した。家庭の経済格差に関わらずクラス全員で観劇して大好評だった。同伴教師も「人形劇」への新たな認識を持ったようだ。初めてろう学校生徒及びろう者の観劇を積極的に受け入れて、手話通訳の対応も行った。</p>



公演終了後には、舞台上で人形や舞台装置の見学が好評。

公演事業3

事業名	人形劇団クラルテ公演 「森のちいくまちゃん」(20分) 「わくわくドッキン! こぶたのりんご」(25分)
助成金	アートキャラバン(島根県民会館粋)助成 400,000円
入場実績	108名(1ステージ分) 大雨警報により1ステージは中止となった。
趣旨目的	幼少期の体験は、本人の記憶に残らなくても人格形成に大きく影響するため、幼児にとっては、無くてはならない事業。高齢者の観劇参加もあって、子どもたちの無邪気な反応に元気をもらうという。
事業概要	【上演】人形劇団クラルテ(日本) 【日程】令和5年6月1日(木) 【回数】1日1ステージ 【対象】幼児、高齢者 【料金】500円
事業実績	<p>・事業周知1週間以内に8割の観劇予約が入る人気事業。3幼稚園と1保育園から108名が観劇し大喜びとなり、帰りのバスの中では、大変な盛り上がりだったとの感想が届いた。</p> <p>・翌2日(金)の公演は、大雨警報が発令されたため実施するかどうか迷うところであったが、2021豪雨の際、事務所棟が床下浸水した上シアター法面が2回にわたって崩落したことがあり、大雨の中で幼児が集団で移動することなどを考慮して、結局中止とした。</p>



幼稚園・保育園の幼児と引率の先生は、毎年楽しみにしている。

普及啓発事業 1

事業名	しいの実シアター未来学校
助成金	しまね社会貢献基金 340,000円
参加実績	第1回 23名 第2回 7名
趣旨目的	大人の指示や干渉のない中、小・中学生による自由な演劇創りを通して、創造力を育成する。初対面の子ども同士で折り合いを付けながら、作品選びから発表まで行うことで自主性と主体性を養う。出来上がった作品の工夫した点を評価する。
事業概要	<p>【会場】 しいの実シアター、かやぶき交流館</p> <p>【日程】 1回目 令和5年8月4日（金）5日（土）6日（日）の3日間 2回目 令和5年8月25日（金）26日（土）27日（日）の3日間</p> <p>【対象】 小学生、中学生 【料金】 1人5,000円（材料費、2回の昼食代、保険料込）</p> <p>【講師】 田中小百合（NPO法人明るい生活理事長、ワークショップ講師） 有田美由樹（NPO法人あしづえ俳優、ワークショップ講師）</p>
事業実績	<p>・今年度の「未来学校」で気づいたことは、保護者や周りの大人が手を出し口を出して、子どもたちの自主性を損なってしまう傾向がいかに多いのか、ということだった。</p> <p>最終日の劇発表での子どもたちの創造性豊かな出来栄えにどの保護者も驚いており、「親が、もっと見守ることの必要性に気づいた」との感想が多く寄せられた。</p>

右上 劇場探検 照明卓は人気。

右下 相談しながら道具づくり

左 工夫してできた衣装と面！



「指定管理者制度と公立劇場経営について」の研修実施

日 程：令和5年6月9日（金）講 師：帝塚山大学名誉教授・中川幾郎氏

参加者：劇場設置者として 松江市文化振興課職員、松江市教育委員会職員
指定管理者として NPO 法人あしづえ職員 合計 16 名

経 費：全国公立文化施設協会支援員派遣制度を活用したことにより無料。

内 容：松江市の関係者に指定管理者制度の意図が伝わり、令和6年度からの指定管理更新に役立ててもらった。

施設管理

1. 劇場舞台のそで幕・劇場廊下の外光遮へい暗幕の劣化が激しい

舞台そで幕は劣化が激しく、大きく裂けているものがあり交換が急がれる。前回の交換時、指定管理者に相談なしで、専門性のない地元の一般カーテン業者に安価発注されたことにより、経年劣化がはげしく、見苦しい状態になっている。

外光を遮るための劇場廊下の暗幕も、小さい穴が無数にあって見苦しい状態になっている。

2. 大型貸切バスの駐車場が無いため乗降時の危険性が高い

大型バスの駐車場がないため幼保園児・児童・生徒が県道で乗降する際、常に危険が伴う。

3. 来場者不安解消のため、駐車場ライン塗布の必要性が急がれる

劇場敷地内の駐車場ラインがほぼ完全に消えている。バック駐車すると後面は崖であり、来場者からの不安の声が度々である。

4. 公共文化施設としての案内標識等の設置の必要性

合併後19年が経過しても案内表示がない。かやぶき交流館の名称も含めて、可能な限り早い時期に国道、県道等の当局への案内標識等の設置要望をお願いしたい。

令和元年度から実施している森の整備によって良好な景観が生まれてきている。

4年度開催の「第7回松江・森の演劇祭」来場者アンケート集計からも、「こんな所にこんな良いところがあるとは思わなかった」等の評価が数多くあった。今後も、さらに良好な景観づくりを行って、より多くの市民が訪れるようなく愛される森の劇場>に育てていく。

<令和5年度事業報告> かやぶき交流館の管理・運営事業

貸館件数については、全館利用件数、個人利用件数ともに増加し、前年比 82%増となった。これは本格的に作成したチラシ配付の効果に加えて、定期的に利用したいという人が複数あったことによる。

利用者数については、今年度は大きなイベントはなかったものの前年比 96%であった。令和4年度は「森の演劇祭」の会場でもあったため利用者数が多かったが、それに迫る利用者数であった。

<施設利用(使用)者数>

・麦風工房「春とりどり展」	830人
・「Journeys room」	200人
・「lemon レモンマーケット」	200人
・8/4-6, 8/25-27 未来学校	142人
・フヨウサキナ「ビューティーフォーラム」	73人
・ともしび歌声喫茶	54人
・八雲公民館 事業	31人
・カフェまったり 月1~2回	197人

その他、交流会・親子行事等が8件、食事会等が18件あり。

合計 利用件数 92件 3641人

八雲ゆう人会の「八雲ゆう游鯉のぼり」に協賛して4月13日(日)~6月10日(土)まで鯉のぼりを掲揚し、貸館利用者や地域の人々に喜んでもらうことができた。

1. 出演劇団選定のため視察・出演交渉

豊岡演劇祭視察	9月18日(月)～20日(水)	豊岡市周辺
豊岡演劇祭は、平田オリザが演劇と観光をつないで、「世界一の演劇祭」を標榜しているが、会場が遠隔地に点在しているため車がなければ行くことができず、魅力を感じることは無かった。観劇した2本は、文学座子ども劇「鬼さんこんにちは」、カナダ・コープス+大阪劇団キオ「むかしむかし」だったが、出演交渉に至る作品ではなかった。		
むすび座「緑の指をした少年チト」観劇	9月24日(日)	岡山市民会館
2時間の大作であり、むすび座としては周年記念としての上演であったが、出演交渉に至る作品ではなかった。		
「森から来たカーニバル」観劇	11月25日(土)	東京 ザ・スズナリ
別役実原作をズキ拓朗がダンスを交えて演出した作品。前評判とは異なり、別役の意図が表現されていないため出演交渉には至らなかった。		
オランダ大使館訪問	11月26日(日)	オランダ大使館
オランダ代理大使夫人でありイプセン研究家のアンネランディ・ペータス氏と面談し、オランダ、ノルウェー、スウェーデン、デンマークなど北欧からの劇団を招聘するための情報交換を行い、大使館書記から紹介する約束を得た。		

2. ボランティアレベルアップ研修

あしぶえ「ゼロ弾きのゴーシュ」、イギリス劇団「ヤナと雪男」の両公演時に、20名が手のひらサイズの新ハウスマニュアルを使用し、大変使いやすいと好評でレベルアップにつながった。

3. 興行ビザ申請業務に係る整理

海外劇団のビザ申請について適切に業務が進むよう多量の提出書類等を整理した。

4. 前回10万円以上寄付者への返礼ワーク

島根トヨタ(株)の入社式後に、20名の皆さんに「コミュニケーションワーク」を実施した。

5. 演劇祭広報デザイン検討会議

演劇祭広報デザイナーの大畑晶子氏と7年度広報計画等の詳細打合せを行った。

6. アートキャラバン全体ネットワーク会議 8月22日～24日 東京ビックサイト

全国公立文化施設協会主催で文化庁の補助金申請に掛かる説明会及び公立文化施設同士の連携会議に出席。分科会では、国内及び海外秀作公演を文化施設間で連携企画することについて話し合った。

2023(令和5)年度 会費報告

2023(令和5)年4月1日から2024(令和6)年3月31日まで

認定NPO法人 あしづえ

会員の種類		2022(令和4)年度	2023(令和5)年度	増減	会費納入状況
正会員	団体	7件	6件	-1団体	完納
	個人	47名	45名	-2名	完納
創造活動会員		15名	14名	-1名	完納
サポート会員	団体	8件 12口	8件 12口	増減なし	完納
	個人	212名 871口	217名 914口	+5名 +43口	完納

会員 地域別区分

会員区分		住所地	団体数・人数	合計
正会員	団体	松江市内（八雲町を除く）	3団体	6団体
		八雲町内	3団体	
	個人	松江市内（八雲町を除く）	14名	45名
		八雲町内	16名	
		県内（上記を除く）	7名	
		県外（大阪府、奈良県、広島県、福岡県）	8名	

会員区分		住所地	団体数・人数	合計
サポート会員	団体	松江市内（八雲町を除く）	7団体	8団体
		八雲町内	—	
		大田市	1団体	
	個人	松江市内（八雲町を除く）	63名	217名
		八雲町内	57名	
		県内（上記を除く）	31名	
県外（東京都、神奈川県、宮城県、埼玉県、茨城県、愛知県、大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、鳥取県、広島県、山口県、岡山県、香川県、高知県、福岡県、長崎県、鹿児島県）		66名		

団体会員(14団体)の地域別の割合



個人会員(262名)の地域別の割合

